

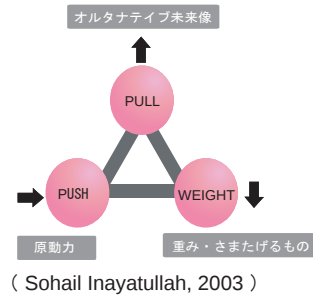
未来学 と 十現郷

Creative City, Future Films

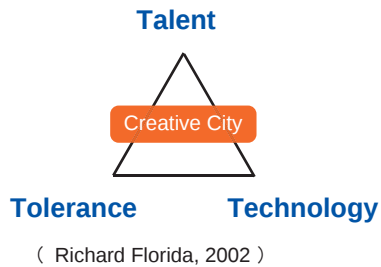
企画の裏側

STEP 1. 未来を創造する方法と問題

■ 未来三角形



■ Creative City の指標



■ 現代の問題を分析する



■ コミュニケーションモデル

コミュニケーションモデルとは、誰がどんな目的で制作したものを明確にするためのものです。



STEP 2. 未来像・理想像を創造する

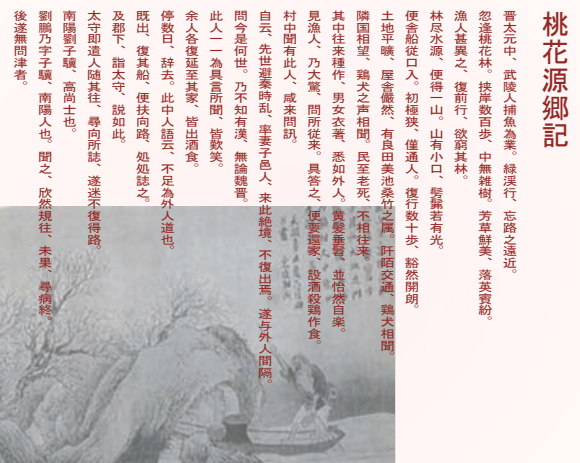
■ Creative City ・ 東洋ユートピア思想

陶淵明の桃花源記（桃源郷）

未来像や理想像に着目された過去のものの中から、陶淵明の桃源郷に焦点をあてました。桃源郷は、戦乱の絶えない時代に陶淵明が思い描いた理想郷です。
争いが絶えなかった世の中だからこそ、陶淵明はただ平凡に暮らすことができればそれでいいという願いを桃源郷に込めたのです。

桃源郷のあらすじ

ある日、漁へ出かけていた漁夫は桃源郷へ迷い込んでしまいます。そこは桃の花が咲き乱れ、村人がひっそりと平安に暮らしているところでした。もとの世界に戻った漁夫は、桃源郷のことが忘れられず、再び桃源郷を探そうとするのですが二度と見つけることはできなかったのです。



STEP 3. 短編映画で自分たちの理想を描く

最後のステップとして、自分たちの桃源郷、つまり『十現郷』を創造しました。そして、ただ卓上での『十現郷』ではなく、短編映画というかたちで実現させました。

